

団体	年度① 事業名称①	年度② 事業名称②	その後の活用状況(「催し物」含む)	効果
やらまい会	21 22 すすめ夢街道		月1回のゴミ拾い。	樹木の伐採・植樹により道路が明るくなった。会員以外からの花苗の提供があった。月1回のゴミ拾いを行うと以前よりポイ捨てが少なくなった。町内の人からの反応も大きい。
賀茂校区文化協会	21 「山本晴幸(勘助)生誕碑」の補強工事及び付属設備の設置	22 竹尾彦九郎翁の石碑解説板の設置	関心のある方が見に来る。 毎年、山本勘助を偲ぶ会を開催(50~100人)	郷土の偉人の功績を子どもたちが知るきっかけとなっている(学校の事業)。祖父母と学校で学んだ孫との共通の話題となっている。
栄校区まちづくりを考える会	21 「さかえ歴史と自然の道」整備事業の継続		地域の方が説明板を見ている。 H22・H23栄小課外授業で使用。校区市民館事業で使用。芦原校区老人会見学会(60人)。	栄校区は戦前は軍用地であり、住民が増えたのは戦後。新しい住民に栄校区の歴史を再認識してもらおう機会となった。
内山川ホタルを守る会	21 22 内山川ホタルの里づくり 23		(他の補助金により事業を継続中) (特になし)	ゲンジボタルの発生量は2倍に。市内外多くの方が見学。多米小学校の「ホタルを見る会」は毎年実施。テレビ局の取材(ガイアの夜明け)。作業を行うことで地域コミュニティの活発化。
豊橋歴史研究連絡協議会	21 案内看板の設置		H22.10句碑めぐりバスツアー(21名)。H23.2校区市民館事業(5名)。H24句碑のスケッチと撮影会(9名)。	案内看板の設置により、句碑の場所や句の内容がわかりやすくなった。 一般市民だけでなく、青少年・小中学生に句を鑑賞してもらい、人生の糧にしてほしい。
三ノ輪二区壮健会	21 三ノ輪東公園の花壇づくりとフェンス修復工事	22 三ノ輪東公園の花壇づくり等 整備工事	ボール遊びなど子供が安全に遊んでいる。 H24.8三ノ輪三町納涼まつり(160人)。H24.10三ノ輪平成まつり(350人)	年3回の花苗植えは大人と子供の交流の場となっている。
伊古部町笹百合保存会	22 「ササユリの里」遊歩道階段整備事業		平成22年6月より階段の供用。毎年1万人近くの市民が来場。 ササユリ祭りH22.6.5~6(人数不明)・H23.6.4~5(1,500人)・H24.6.9~10(2,900人)・H25.6.8~9(2,854人)	知名度も上がり、来場者は毎年確実に増えている。地元の方のウォーキング利用もある。憩いの場となっている。
石巻ケマイマイ-きせる会	22 石巻山ろく総里山計画(ビオトープ整備事業)		散歩で訪れる市民の目を和ませている。年2回の清掃活動。 H24.8子供会との環境保全実践活動を実施。	H25農水省補助事業採択。環境保全活動を継続している。
(特)手しごと屋豊橋	23 中型合併浄化槽の設置 NPO法人地域活動の拠点基盤整備事業		地域活動の拠点施設として活用。コミュニティカフェ・居場所。 毎週イベント(手芸講座・介護予防体操)等実施。H25.7終活を考える(32名)。	NPO法人会員以外の利用者の増。
下地豊飯通り六丁目自治会	23 土地改良の碑 町内憩いの場づくり		散歩や530運動の休憩場所。	照明で明るくなり、危険な雰囲気解消された。
石巻山・紅の会	24 僕ひとり、まず一歩！夢見る夢夫 紅葉の遊歩路を！		散歩場所。石巻山・三ツ口池クリーン作戦の集合場所。 補助事業とは別に自治会の「クリーン作戦」で植樹。	荒地・不法投棄場所のイメージがなくなり散歩する人が増えた。 水資源機構の協力(安全柵の設置・道路の舗装)。隣接する苗圃の活用について市から提案依頼を受けた。
下地住みよい暮らしづくり推進会議	24 東海道花咲かせ隊 しもじ		年3回の花の植え替え。10月には下地小の花の植え替え参加。 H24.10完成式(80名)	近所の連携の高まり。下地小と校区の地域参加の高まり(環境・地域参加教育)。環境美化。